

町田市民の保健医療意識調査結果の概要

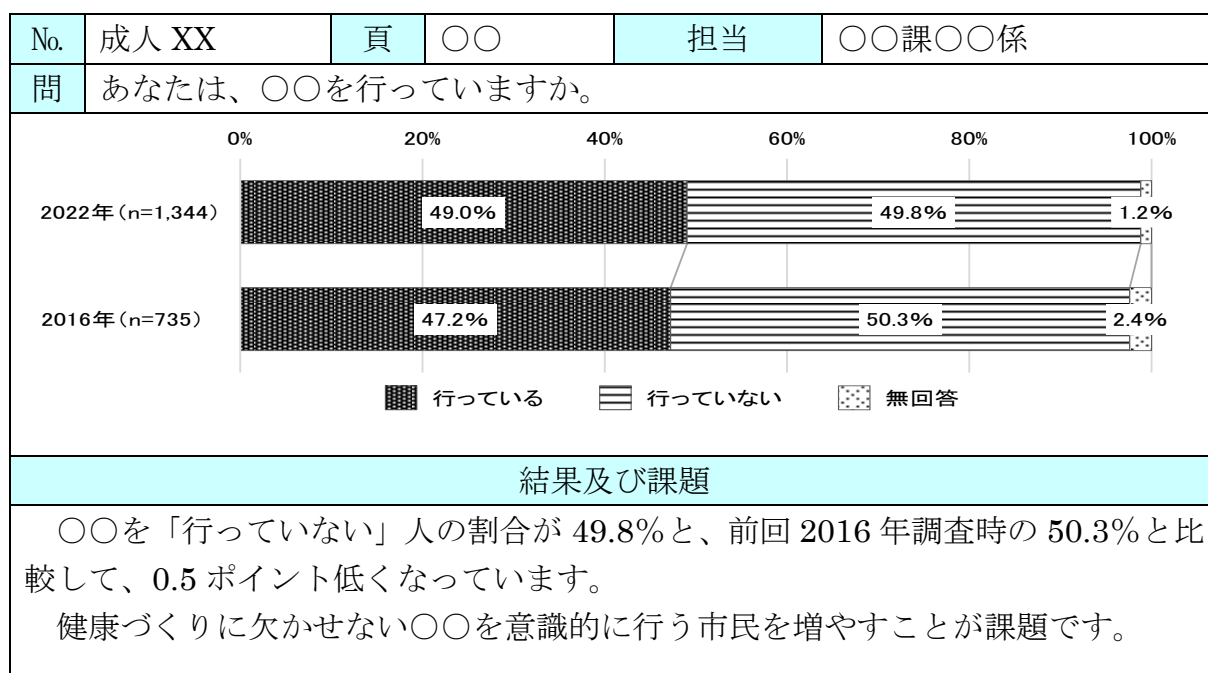
本資料は、各分野にて特徴的な結果や、次期計画を策定するにあたって注目している結果等をピックアップし、まとめたものとなっております。

○ 本資料の見方

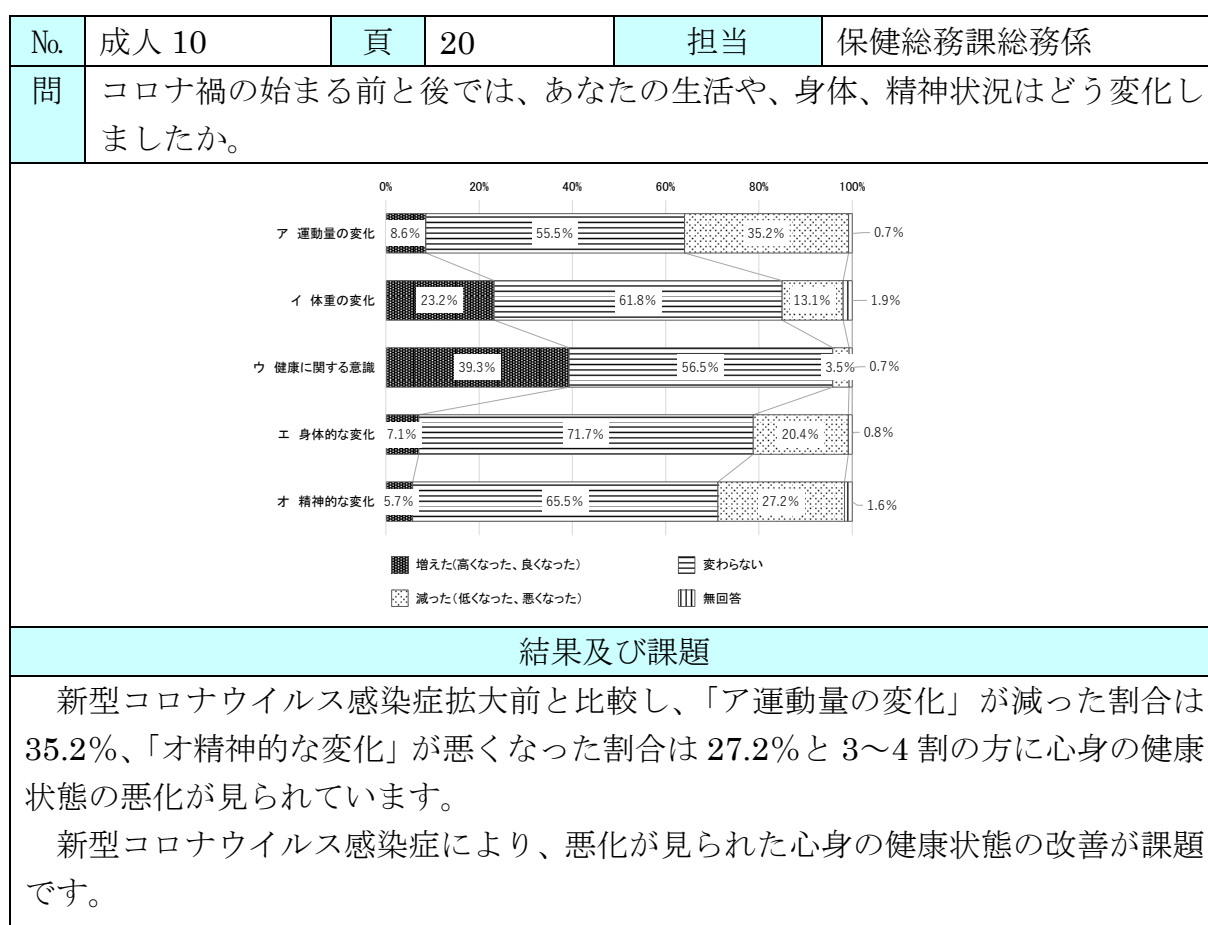
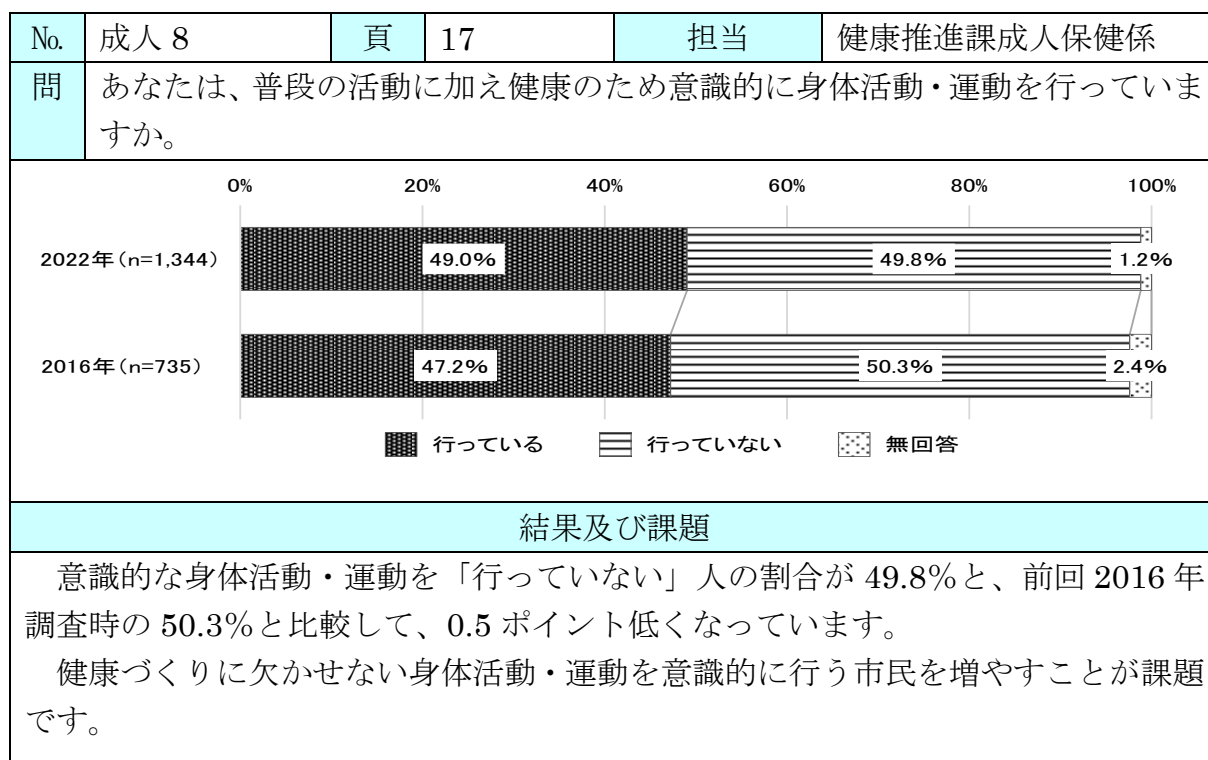
- ・ 太字→報告書の分野番号と分野名を指しています。
- ・ No.→年齢区分と問番号 ・ 頁→報告書のページ番号 ・ 担当→所管
- ・ 問→調査票の問、その下には結果のグラフを転載
- ・ 結果及び課題→調査結果と結果から捉えた課題

以下の例の場合、
報告書の〇〇ページに記載されている分野「2 日常生活について（身体活動・運動）」
成人の問番号 XX の内容や結果等を示しています。

(例) 2 日常生活について（身体活動・運動）



2 日常生活について（身体活動・運動）



3 食生活について

No.	成人 14	頁	34	担当	保健予防課保健栄養係																											
問	14 あなたは、「食育」について関心がありますか。(○は1つ)																															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回答者数 (件)</th> <th>やせ</th> <th>普通</th> <th>肥満</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>食育への関心</td> <td>合計</td> <td>1,344</td> <td>10.00%</td> <td>66.50%</td> <td>20.60%</td> <td>2.80%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>関心がある</td> <td>1,035</td> <td>9.6%</td> <td>68.9%</td> <td>19.3%</td> <td>2.3%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>関心がない</td> <td>295</td> <td>10.5%</td> <td>59.3%</td> <td>26.1%</td> <td>4.0%</td> </tr> </tbody> </table>						区分	回答者数 (件)	やせ	普通	肥満	無回答	食育への関心	合計	1,344	10.00%	66.50%	20.60%	2.80%		関心がある	1,035	9.6%	68.9%	19.3%	2.3%		関心がない	295	10.5%	59.3%	26.1%	4.0%
区分	回答者数 (件)	やせ	普通	肥満	無回答																											
食育への関心	合計	1,344	10.00%	66.50%	20.60%	2.80%																										
	関心がある	1,035	9.6%	68.9%	19.3%	2.3%																										
	関心がない	295	10.5%	59.3%	26.1%	4.0%																										
結果及び課題																																
<p>食育の関心度の高さは77.0%で、2021年に実施された国調査の79.5%とほぼ同率となっています。また、食育の関心度が低い方は、食事バランスの乱れや肥満度が高い傾向が見られます。食育への関心度が低い方の食生活改善にもつながるよう、市民が健康的な食事を選択できる環境整備に取り組んでいく必要があります。</p>																																

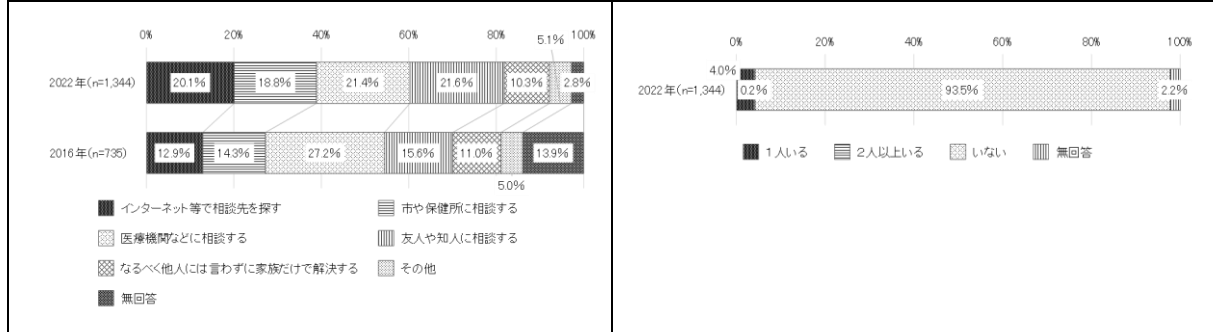
No.	成人 18、ア	頁	39、40	担当	保健予防課保健栄養係																																																																
問	あなたは、普段の食事で野菜料理をどれくらい食べていますか。		ア. 朝食 (左記のうち、朝食の全体を抜粋)																																																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回答者数</th> <th>つけ合わせ程度</th> <th>小鉢1つ程度</th> <th>小鉢2つ程度</th> <th>小鉢3つ程度</th> <th>まったく食べない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>1,344人</td> <td>30.5</td> <td>18.2</td> <td>9.2</td> <td>3.5</td> <td>35.3</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>10・20代</td> <td>140人</td> <td>25.0</td> <td>13.6</td> <td>5.0</td> <td>2.1</td> <td>52.9</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>116人</td> <td>29.3</td> <td>14.7</td> <td>1.7</td> <td>3.4</td> <td>48.3</td> <td>2.6</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>219人</td> <td>26.9</td> <td>16.9</td> <td>3.7</td> <td>0.5</td> <td>50.7</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>277人</td> <td>32.1</td> <td>9.0</td> <td>6.5</td> <td>1.4</td> <td>48.7</td> <td>2.2</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>239人</td> <td>31.4</td> <td>23.0</td> <td>13.0</td> <td>3.8</td> <td>23.4</td> <td>5.4</td> </tr> <tr> <td>70代</td> <td>345人</td> <td>33.6</td> <td>26.1</td> <td>16.2</td> <td>7.0</td> <td>12.2</td> <td>4.9</td> </tr> </tbody> </table>			区分	回答者数	つけ合わせ程度	小鉢1つ程度	小鉢2つ程度	小鉢3つ程度	まったく食べない	無回答	合計	1,344人	30.5	18.2	9.2	3.5	35.3	3.3	10・20代	140人	25.0	13.6	5.0	2.1	52.9	1.4	30代	116人	29.3	14.7	1.7	3.4	48.3	2.6	40代	219人	26.9	16.9	3.7	0.5	50.7	1.4	50代	277人	32.1	9.0	6.5	1.4	48.7	2.2	60代	239人	31.4	23.0	13.0	3.8	23.4	5.4	70代	345人	33.6	26.1	16.2	7.0	12.2	4.9	<p style="text-align: right;">単位：%</p>		
区分	回答者数	つけ合わせ程度	小鉢1つ程度	小鉢2つ程度	小鉢3つ程度	まったく食べない	無回答																																																														
合計	1,344人	30.5	18.2	9.2	3.5	35.3	3.3																																																														
10・20代	140人	25.0	13.6	5.0	2.1	52.9	1.4																																																														
30代	116人	29.3	14.7	1.7	3.4	48.3	2.6																																																														
40代	219人	26.9	16.9	3.7	0.5	50.7	1.4																																																														
50代	277人	32.1	9.0	6.5	1.4	48.7	2.2																																																														
60代	239人	31.4	23.0	13.0	3.8	23.4	5.4																																																														
70代	345人	33.6	26.1	16.2	7.0	12.2	4.9																																																														
結果及び課題																																																																					
<p>小鉢1つあたり70gとして算出すると、1日の野菜摂取量が2018年調査結果の265gから233gに減少しました。朝食については野菜料理を「まったく食べない」と回答した方は35.3%で、2018年調査結果の29.1%から増加しています。特に、10～50代では「まったく食べない」と回答した方が最も多く、5割程度を占めています。働き世代では朝食の摂取率も低く、その理由として「時間がないから」が最も多く占めることから、働き世代の朝食摂取及び野菜摂取量の増加に向けて取り組む必要があります。</p>																																																																					

4 こころの健康・休養について

No.	成人 35	頁	78～82	担当	健康推進課健康推進係
問	あなたは、普段のご自分の健康状態について、どう思いますか。				
からだの健康状態 			こころの健康状態 		
結果及び課題					
<p>からだの健康状態、こころの健康状態ともに、「おおむね健康である」の割合が最も高くなっていますが、町田市こころの健康調査（2017年実施）と比較すると、「健康である」と「おおむね健康である」を合わせた割合が、からだの健康状態では5.9ポイント、こころの健康状態では5.2ポイント減少しています。</p> <p>このことから、健康であると感じる市民を増やすことが課題です。</p>					

No.	成人 41、38	頁	105、86	担当	健康推進課健康推進係
問	あなたは、誰かに悩みを相談したり、助けを求めたりすることにためらいを感じますか。				
結果及び課題					
<p>自殺対策を自分自身に関わる問題と捉える人の割合は24.6%と、2021年都調査より34ポイント低くなっています。また、他者への相談や助けをためらう人の割合は47.2%と、2021年国調査より8.4ポイント高くなっています。</p> <p>自殺対策へ関心を持つ人や他人への相談しやすい人の割合が、国や東京都より低くなっており、自殺対策に関する理解を深め、市民一人ひとりの気付きと見守りを促すことが課題です。</p>					

No.	成人 45,46	頁	111～113	担当	保健予防課精神保健係
問	あなたは、家族がひきこもり状態になった場合にどのような対応をとりますか。			あなたを含め同居家族にひきこもりの方はいますか。	



結果及び課題

ひきこもりの家族がいると回答した割合は、4.2%でした。
 家族がひきこもり状態になった場合の対応は、「友人や知人に相談する」が21.6%、「医療機関などに相談する」が21.4%、「インターネット等で相談先を探す」が20.1%、「市や保健所に相談する」が18.8%となっています。2016年と比較してインターネットを頼る方が増加しているため、相談等の支援を求める方にアプローチする際に、効果的な方法を取る必要があります。

5 たばことアルコール飲料について

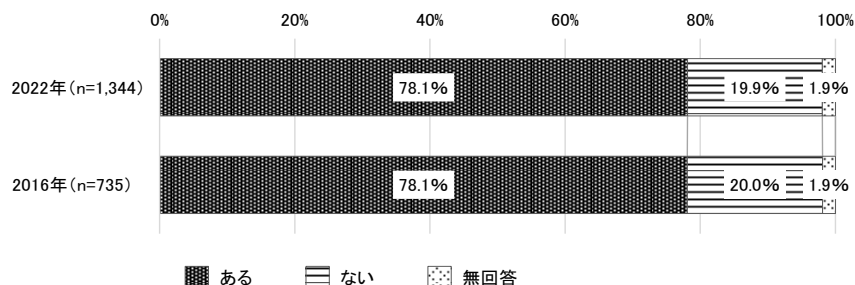
No.	成人 49、50	頁	120、121	担当	健康推進課健康推進係																								
問	あなたは、たばこに関する制度(国の健康増進法改正や東京都受動喫煙防止条例等の受動喫煙を防止するための対策)についてどの程度知っていますか			あなたは、おおよそ1年の間に受動喫煙を経験しましたか																									
<table border="1"> <caption>2022年(n=1,344)の認知状況</caption> <thead> <tr> <th>認知レベル</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内容までよく理解している</td> <td>5.2%</td> </tr> <tr> <td>名前だけは知っている</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>だいたい理解している</td> <td>24.6%</td> </tr> <tr> <td>知らない・わからない</td> <td>39.3%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2.2%</td> </tr> </tbody> </table>			認知レベル	割合	内容までよく理解している	5.2%	名前だけは知っている	28.8%	だいたい理解している	24.6%	知らない・わからない	39.3%	無回答	2.2%	<table border="1"> <caption>受動喫煙経験状況比較</caption> <thead> <tr> <th>調査年</th> <th>経験した</th> <th>経験しなかった</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年(n=1,344)</td> <td>48.9%</td> <td>48.7%</td> <td>2.5%</td> </tr> <tr> <td>2021年都調査(n=1,939)</td> <td>55.4%</td> <td>43.1%</td> <td>1.5%</td> </tr> </tbody> </table>			調査年	経験した	経験しなかった	無回答	2022年(n=1,344)	48.9%	48.7%	2.5%	2021年都調査(n=1,939)	55.4%	43.1%	1.5%
認知レベル	割合																												
内容までよく理解している	5.2%																												
名前だけは知っている	28.8%																												
だいたい理解している	24.6%																												
知らない・わからない	39.3%																												
無回答	2.2%																												
調査年	経験した	経験しなかった	無回答																										
2022年(n=1,344)	48.9%	48.7%	2.5%																										
2021年都調査(n=1,939)	55.4%	43.1%	1.5%																										
結果及び課題																													
<p>受動喫煙を「経験した」の割合は48.9%となっており、この結果を、都調査「健康に関する世論調査」(2021年)と比較すると、6.5ポイント低くなっています。</p> <p>一方で、たばこに関する制度(国の健康増進法改正や東京都受動喫煙防止条例等の受動喫煙を防止するための対策)を「知らない・わからない」の割合は39.3%となっており、たばこに関する制度の継続的な周知が課題です。</p>																													

No.	未 48、48 - ①	頁	358、359	担当	健康推進課健康推進係 保健予防課母子保健係																				
問	「あて名のお子さん」の母親は妊娠中に、受動喫煙の形でたばこの煙を吸うことはありましたか。			【問48で「1 はい」と回答した方にお伺いします。】妊娠中に、受動喫煙をした場所はどこですか。																					
<table border="1"> <caption>2022年(n=618)の妊娠中喫煙状況</caption> <thead> <tr> <th>回答</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>はい</td> <td>19.1%</td> </tr> <tr> <td>いいえ</td> <td>80.1%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.8%</td> </tr> </tbody> </table>			回答	割合	はい	19.1%	いいえ	80.1%	無回答	0.8%	<table border="1"> <caption>妊娠中の受動喫煙場所</caption> <thead> <tr> <th>場所</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路(歩行中)</td> <td>67.8%</td> </tr> <tr> <td>家</td> <td>40.7%</td> </tr> <tr> <td>車</td> <td>14.4%</td> </tr> <tr> <td>飲食店</td> <td>22.9%</td> </tr> <tr> <td>公園</td> <td>6.8%</td> </tr> </tbody> </table>			場所	割合	道路(歩行中)	67.8%	家	40.7%	車	14.4%	飲食店	22.9%	公園	6.8%
回答	割合																								
はい	19.1%																								
いいえ	80.1%																								
無回答	0.8%																								
場所	割合																								
道路(歩行中)	67.8%																								
家	40.7%																								
車	14.4%																								
飲食店	22.9%																								
公園	6.8%																								
結果及び課題																									
<p>妊娠中に、受動喫煙があった妊婦は19.1%でした。受動喫煙をした場所は、歩行中が67.8%と高い割合となっています。新型コロナウイルス感染症の影響で外出を控えていたことを受けて、飲食店での受動喫煙が22.9%と37.5ポイントの大幅減となりました。一方、家での受動喫煙が40.7%と31.9ポイント増加し、車での受動喫煙も14.4%と11.6ポイント増加しています。家や車といった妊婦の身近な環境において、低出生体重、胎児発育遅滞及び胎乳児突然死症候群(SIDS)の要因となりうる受動喫煙が増加していることが課題です。</p>																									

6 健康診査・検診について

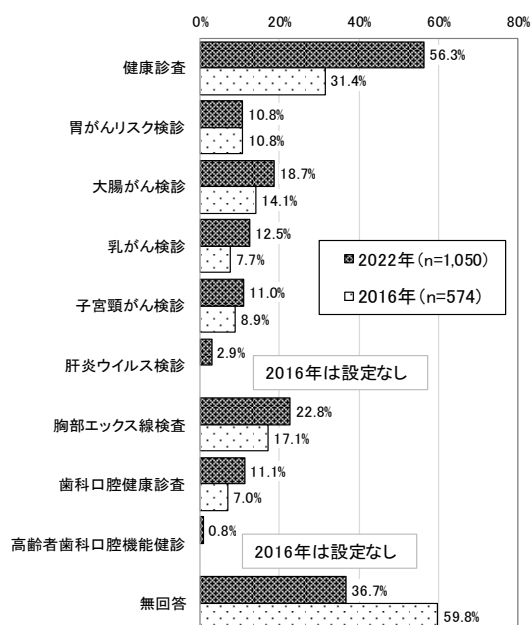
No.	成人 55、55-①	頁	132、133	担当	健康推進課成人保健係
-----	------------	---	---------	----	------------

問 あなたは、この1年間に、健康診査・検診を受けたことがありますか。

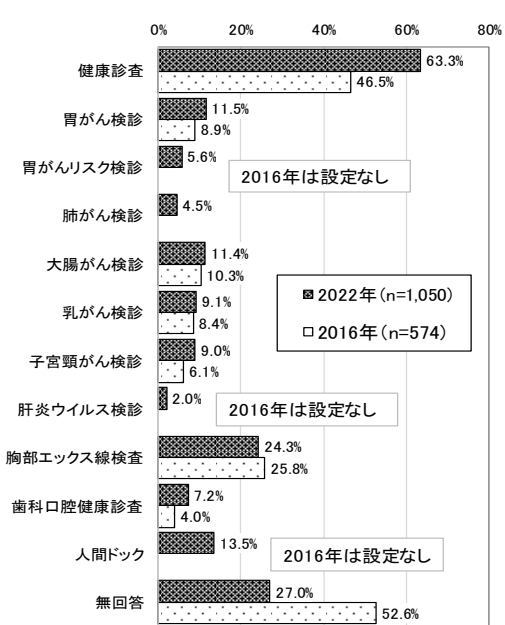


問 受診した健康診査・検診は何ですか。

<市の健康診査・検診>



<職場や学校の健康診査・検診・人間ドック>



結果及び課題

この1年間に、健康診査・検診を受けたことが「ある」人の割合が78.1%と、2016年調査時と同様の割合です。

一方、健康診査・検診を受けたことが「ある」人のうち、市が実施している「健康診査」を受診した人の割合は56.3%と、2016年調査時の31.4%から24.9ポイント高く、市以外の職場等が実施している「健康診査」を受診した人の割合は63.3%と、2016年調査時の46.5%から16.8ポイント高くなっています。このことは、いろいろな検診を受診する人の割合が増えていると考えられます。

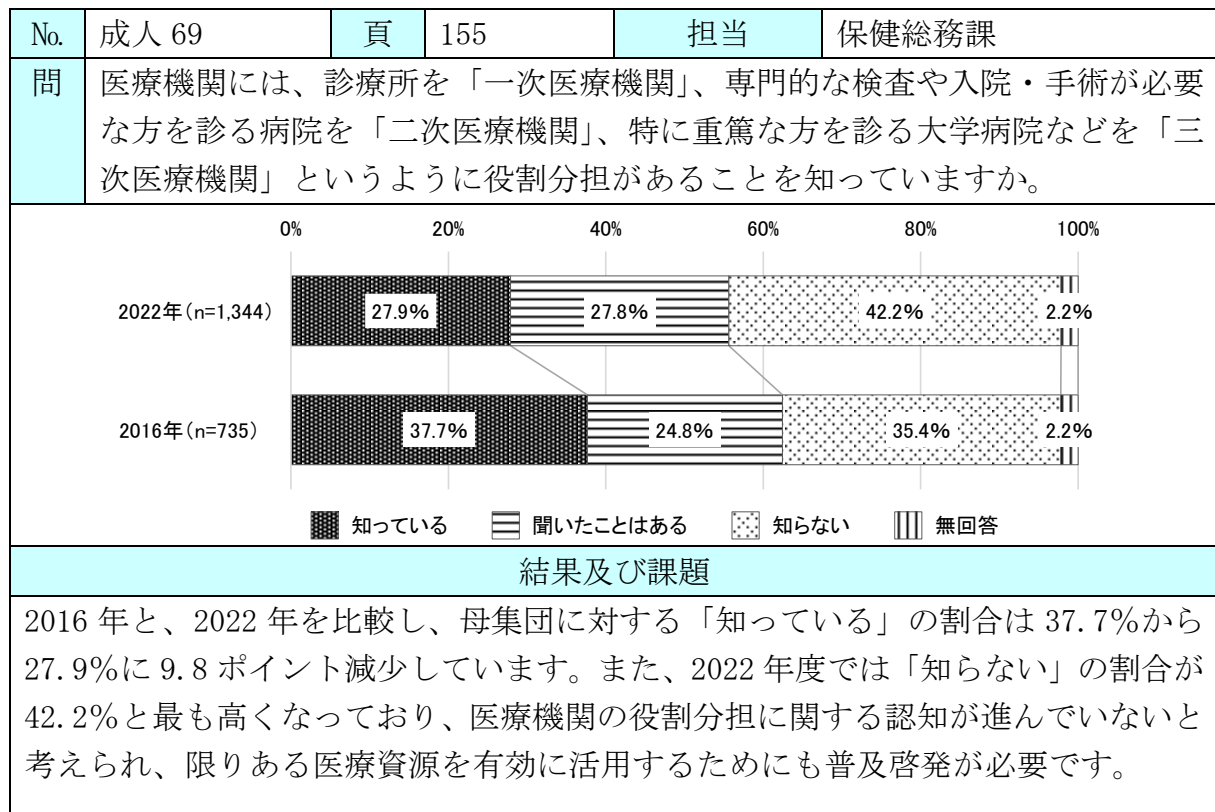
また、がん検診の受診割合は、2016年調査時と比較すると、若干高くなっていますが、国のがん対策推進基本計画における受診率の目標値50%を達成しておらず、受診率向上が課題となっています。

7 歯と口の健康について

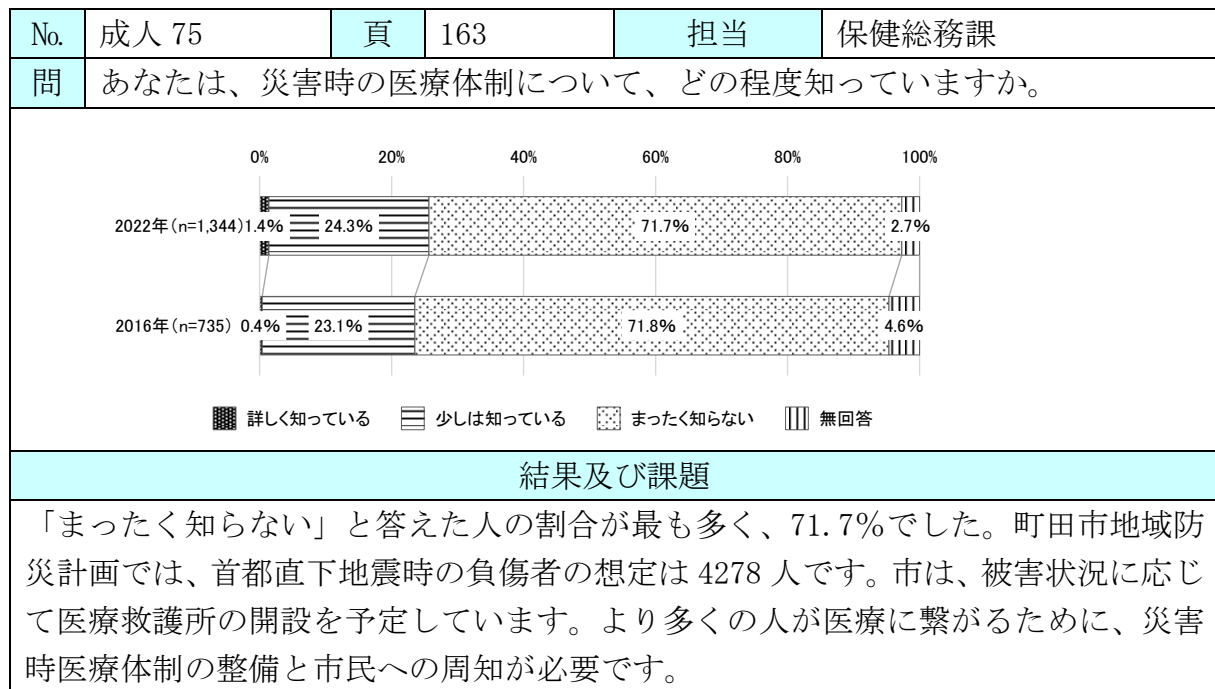
No.	成人 57	頁	139	担当	保健総務課 保健予防課歯科保健係																																																																
問	あなたの歯の数は何本ですか。() 内に歯の本数を記載してください。 ※入れ歯やインプラントは、自身の歯の数に含めません。																																																																				
<p>2022年(n=1,344)</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>3.3% 8.0% 8.9% 72.5% 7.3%</p> <p>10本未満 10~19本 20~23本 24本以上 無回答</p>			<p>単位：%</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回答者数</th> <th>10本未満</th> <th>10~19本</th> <th>20~23本</th> <th>24本以上</th> <th>無回答</th> <th>平均歯の本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>合計</td> <td>1,344人</td> <td>3.3</td> <td>8.0</td> <td>8.9</td> <td>72.5</td> <td>7.3</td> <td>24.7本</td> </tr> <tr> <td>10・20代</td> <td>140人</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>94.3</td> <td>5.7</td> <td>27.9本</td> </tr> <tr> <td>30代</td> <td>116人</td> <td>0.0</td> <td>0.0</td> <td>2.6</td> <td>97.4</td> <td>0.0</td> <td>27.6本</td> </tr> <tr> <td>40代</td> <td>219人</td> <td>0.9</td> <td>1.4</td> <td>4.6</td> <td>87.7</td> <td>5.5</td> <td>26.9本</td> </tr> <tr> <td>50代</td> <td>277人</td> <td>0.4</td> <td>4.3</td> <td>7.9</td> <td>77.3</td> <td>10.1</td> <td>25.7本</td> </tr> <tr> <td>60代</td> <td>239人</td> <td>2.9</td> <td>13.8</td> <td>13.0</td> <td>64.4</td> <td>5.9</td> <td>23.5本</td> </tr> <tr> <td>70代</td> <td>345人</td> <td>9.6</td> <td>17.1</td> <td>15.4</td> <td>48.1</td> <td>9.9</td> <td>20.7本</td> </tr> </tbody> </table>			区分	回答者数	10本未満	10~19本	20~23本	24本以上	無回答	平均歯の本数	合計	1,344人	3.3	8.0	8.9	72.5	7.3	24.7本	10・20代	140人	0.0	0.0	0.0	94.3	5.7	27.9本	30代	116人	0.0	0.0	2.6	97.4	0.0	27.6本	40代	219人	0.9	1.4	4.6	87.7	5.5	26.9本	50代	277人	0.4	4.3	7.9	77.3	10.1	25.7本	60代	239人	2.9	13.8	13.0	64.4	5.9	23.5本	70代	345人	9.6	17.1	15.4	48.1	9.9	20.7本
区分	回答者数	10本未満	10~19本	20~23本	24本以上	無回答	平均歯の本数																																																														
合計	1,344人	3.3	8.0	8.9	72.5	7.3	24.7本																																																														
10・20代	140人	0.0	0.0	0.0	94.3	5.7	27.9本																																																														
30代	116人	0.0	0.0	2.6	97.4	0.0	27.6本																																																														
40代	219人	0.9	1.4	4.6	87.7	5.5	26.9本																																																														
50代	277人	0.4	4.3	7.9	77.3	10.1	25.7本																																																														
60代	239人	2.9	13.8	13.0	64.4	5.9	23.5本																																																														
70代	345人	9.6	17.1	15.4	48.1	9.9	20.7本																																																														
結果及び課題																																																																					
<p>全体では、24本以上歯がある人の割合は72.5%、平均本数は24.7本です。歯の本数は年齢と共に減少し、70歳代では24本以上の割合は48.1%、20本以下の割合は26.7%、平均本数は20.7本です。将来、8020（ハチマルニイマル）が達成できるよう青年期から歯と口の健康づくりに取り組むことが必要です。</p> <p>8020：80歳で20本の歯を残そうという目標で、生涯にわたり自分の歯で食べることを意味する。国の2016年歯科疾患実態調査では、達成者の割合は51.2%。</p>																																																																					

No.	成人 59	頁	141	担当	保健総務課 保健予防課歯科保健係
問	あなたは、「オーラルフレイル」を知っていますか。				
<p>2022年(n=1,344)</p> <p>0% 20% 40% 60% 80% 100%</p> <p>16.8% 12.1% 68.5% 2.6%</p> <p>言葉も意味も知っていた 言葉は知っていたが、意味は知らなかった 言葉も意味も知らなかった 無回答</p>					
結果及び課題					
<p>「言葉も意味も知っていた」と答えた人の割合は16.8%と少ない状況です。オーラルフレイルは、近年提唱された概念で、口の機能の軽微な低下を指し要介護への移行や総死亡リスクを高めることが示されています。2023年1月1日時点での町田市の高齢化率は27.2%で、今後さらに高齢化が進むことから、オーラルフレイルの認知度が高まるよう普及啓発が必要です。</p>					

8 医療について



9 災害時の医療について



1 0 薬について

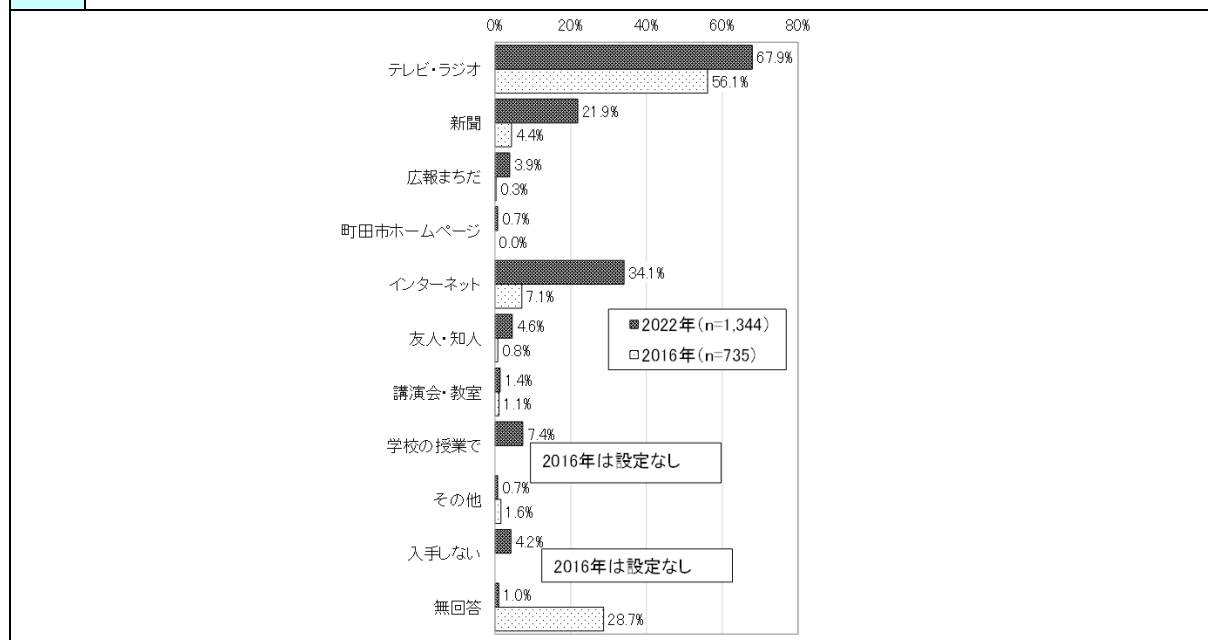
No.	成人 78	頁	167	担当	保健総務課																		
問	あなたは、「かかりつけ薬局」または、「かかりつけ薬剤師」を決めていますか。																						
<table border="1"> <caption>結果及び課題</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>両方決めている</th> <th>かかりつけ薬局を決めている</th> <th>かかりつけ薬剤師を決めている</th> <th>両方決めていない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年(n=1,344)</td> <td>10.4%</td> <td>35.7%</td> <td>0.4%</td> <td>51.4%</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>2016年(n=735)</td> <td>10.5%</td> <td>34.7%</td> <td>1.1%</td> <td>47.2%</td> <td>6.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>「かかりつけ薬局または、かかりつけ薬剤師を決めている」の割合は、46.5%となっています。一方で、「両方決めていない」の割合は、51.4%となっているため、引き続き、かかりつけ薬局及びかかりつけ薬剤師の役割について、普及啓発していく必要があります。</p>						年	両方決めている	かかりつけ薬局を決めている	かかりつけ薬剤師を決めている	両方決めていない	無回答	2022年(n=1,344)	10.4%	35.7%	0.4%	51.4%	2.1%	2016年(n=735)	10.5%	34.7%	1.1%	47.2%	6.5%
年	両方決めている	かかりつけ薬局を決めている	かかりつけ薬剤師を決めている	両方決めていない	無回答																		
2022年(n=1,344)	10.4%	35.7%	0.4%	51.4%	2.1%																		
2016年(n=735)	10.5%	34.7%	1.1%	47.2%	6.5%																		

1 1 動物愛護について

No.	成人 80-②	頁	174	担当	生活衛生課愛護動物係																		
問	災害が起きた時に備えて、日頃取り組んでいること																						
<table border="1"> <caption>結果及び課題</caption> <thead> <tr> <th>備え</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ペットフードや水、常備薬などを備蓄している</td> <td>57.9%</td> </tr> <tr> <td>マイクロチップや迷子札などを装着している</td> <td>30.7%</td> </tr> <tr> <td>ケージ等に入れる訓練をしている</td> <td>25.0%</td> </tr> <tr> <td>避難訓練に参加している</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>緊急時の預かり先を確保している</td> <td>6.3%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>何もしていない</td> <td>26.6%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>ペットを飼っている人の日頃の災害への備えとして「ペットフードや水、常備薬などを備蓄している」と回答した人の割合が57.9%にのぼる一方で、26.6%の人が「何もしていない」と回答しており、引き続き、飼い主への啓発に取り組んでいく必要があります。</p>						備え	割合	ペットフードや水、常備薬などを備蓄している	57.9%	マイクロチップや迷子札などを装着している	30.7%	ケージ等に入れる訓練をしている	25.0%	避難訓練に参加している	0.9%	緊急時の預かり先を確保している	6.3%	その他	0.9%	何もしていない	26.6%	無回答	0.9%
備え	割合																						
ペットフードや水、常備薬などを備蓄している	57.9%																						
マイクロチップや迷子札などを装着している	30.7%																						
ケージ等に入れる訓練をしている	25.0%																						
避難訓練に参加している	0.9%																						
緊急時の預かり先を確保している	6.3%																						
その他	0.9%																						
何もしていない	26.6%																						
無回答	0.9%																						

12 その他

No.	成人 83	頁	179	担当	健康推進課健康推進係
問	あなたは、薬物乱用に関する危険性についての情報はどこから入手しますか。				



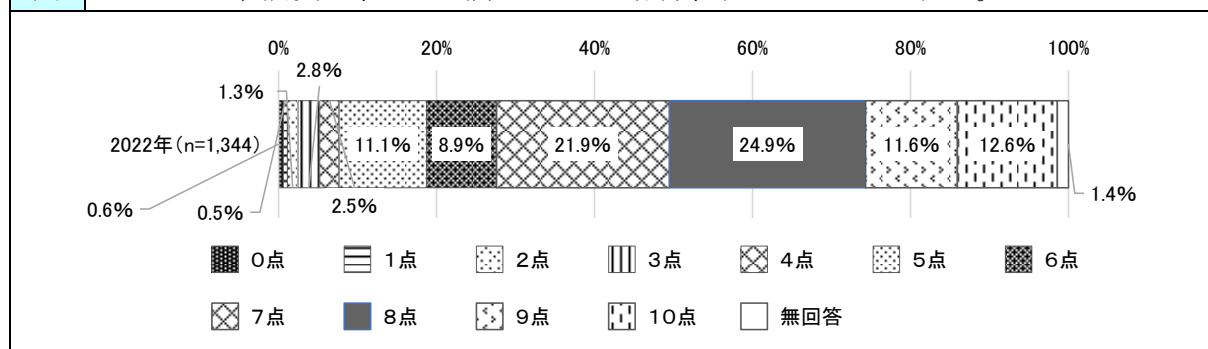
結果及び課題

「テレビ・ラジオ」の割合が 67.9%と最も高く、続いて、インターネット 34.1%、新聞 21.9%が高くなっています。

なかでも、2016 年調査と比較するとインターネットが 27 ポイント増加しており、インターネットを活用した普及啓発の推進が課題です。

【参考】

No.	成人 84	頁	181	担当	保健総務課総務係
問	あなたの幸福度は、10 点満点とした場合、何点になりますか。				



結果及び課題

10 点中「8 点」の割合が 24.9%と最も高くなっています。なお、平均で 7.2 点となっています。

身体的健康、精神的な健康の設問で「健康でない」方の平均点をみると、身体的が 5.5 点、精神的が 4.4 点と低くなっています。

☆ 子育てについて

No.	未就学 11、14	頁	283、291	担当	保健予防課母子保健係
問	あなたは、子育てが楽しいですか。			あなたは、現在住んでいる地域の子育てに関するサークルやグループに参加されていますか。	
<p>2022年 (n=618) は、はい 79.1%、いいえ 1.3%、どちらともいえない 19.3%、無回答 0.3%。</p> <p>2016年 (n=611) は、はい 85.3%、いいえ 14.6%、どちらともいえない 0.2%。</p>			<p>2022年 (n=618) は、している 8.7%、していない 90.9%、無回答 0.3%。</p> <p>2016年 (n=611) は、している 20.1%、していない 79.7%、無回答 0.2%。</p>		
結果及び課題					
<p>子育てが楽しいと答えた人は 79.1% で、前回 2016 年調査時の 85.3% と比較して、6.2 ポイント減少しています。また、地域の子育てに関するサークルやグループに参加されている人は、2016 年調査と比較すると、「している」の割合が 20.1% から 8.7% に 11.4 ポイント減少しており、子育ての孤立化が懸念されます。</p>					

No.	未就学 17	頁	300	担当	保健予防課母子保健係
問	「あて名のお子さん」を妊娠中に市（保健所）の保健師等と面接や、相談をしましたか。				
<p>2022年 (n=618) は、した 57.4%、していない 41.9%、無回答 0.6%。</p> <p>2016年 (n=611) は、した 15.4%、していない 83.1%、無回答 1.5%。</p>					
結果及び課題					
<p>妊娠中に市の保健師等と面接や相談をした人は、57.4% と、前回 2016 年調査時の 15.4% と比較して、42 ポイント高くなっています。今後も妊娠中の方に寄り添い、情報発信や相談を継続的に実施して支援していく必要があります。</p>					